

平成 29 年 7 月 南田中図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 7 月 27 日 (木) 14 時 50 分から 15 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 南田中図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「田」)</p> <p>南田中図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 事業計画について</p> <p>(光) 5 月にあった暴力行為を伴う苦情について</p> <p>→ (田) 最初はインターネットの使用方法について説明をしていたが、うまく意思疎通ができず、スタッフを拳で小突いたり蹴ったりするようなことがあった。その際、暴力行為は困ることを伝え厳重注意したが、事務室へ誘導する途中で退館した。暴力行為については、館・事業者としても慎重に考えており、暴力行為が続くようであれば入館禁止等の対応も考える必要があると思っている。</p> <p>→ (光) 暴力行為があった場合は警察に通報したほうがよい。</p> <p>(光) 高齢者施設で実施している「リサイクルブックフェア」には、どのような資料を出しているか。</p> <p>→ (田) 児童向けの本については、除籍本の内、保育園や幼稚園へ提供した後に残ったもの、一般向けの本については、除籍本の中から、高齢者向けの娯楽の本をスタッフが選んだものを提供している。現在、リサイクルブックフェアは高齢者施設 2 か所、イベントでの配布としており、これ以上の拡大は考えていない。毎回 100～150 冊程度を準備している。</p> <p>(光) 5 月開催の「井のいち「井のいち文庫」」で展示した資料について</p> <p>→ (田) 「井のいち文庫」は、関係者と街の方々より提供していただいた本で作る文庫。石神井氷川神社境内奥の“こもれびの庭”に、館内で展示している本と新たに用意した本 60 冊を展示した。普段は、協力店舗・施設で本棚を持つ所に設置され、借りた本は、どの協力店舗・施設でも返却が可能となっている。</p> <p>→ (光) 「井のいち」で行われた「こもれびのふるおはなし会」への参加協力について</p> <p>→ (田) 事前にチラシを配布したり、当日に呼び込みをしたりし、多くの方の参加があった。地域の方々との協力・連携によって、音楽とコラボレーションしたおはなし等、図書館だけではできない広がりを持った事業となった。</p> <p>(光) デジタルサイネージの内容や、今後の展開について</p> <p>→ 現状はイベントの告知がメイン。また、特集展示の案内を、常時、画面の下に表示している。今後は、タッチパネル操作を使ったコンテンツができないか考えている。</p> <p>(光) 5 月開催の「ねりまで本をつくる、本をつなぐ～練馬区出版社展示会～」について</p> <p>→ (田) 大泉・貫井・関町・南田中の 4 館で、近隣の出版社に一社ずつ声を掛け 19 社を紹介することができた。参加者からはこんなに区内に出版社あることを知らなかったと驚く声があった。南田中のギャラリートークでは江古田にある永岡書店の方をお招きし、一</p>

般の方がなかなか知る機会のない出版の流通や製本等について話をしていただいた。

(光) 区役所アトリウムで行った6月の「環境月間特集展示」について

→ (田) 毎年、環境課の協力を得て、館だより、図書館利用案内や過去の環境関連事業のポスター等を展示している。今年度は、入口近くに展示ができたため、多くの方に見ていただけたと感じた。

(光) 6月開催の「暮らしの講座『意外と知らない薬と薬局の話』」について

→ (田) 暮らしにまつわる講座を年2～3回実施している。今回は、地域連携会議で知り合った練馬区薬剤師会の方に声を掛けて実現した。専門的な話ではなく、一般の方向けに、薬の飲み方や日常気を付けたら良いこと等をお話いただいた。

## ② 児童サービス事業について

(光) 「ユースサポーターin Minamitanaka」について

→ (田) 平成28年9月から始まり、現在5名(中学2年生2名、3年生1名、高校1年生1名、2年生1名)で実施している。青少年コーナーの窓の装飾やおすすめ本のポップを作成しているほか、メンバーが読み聞かせを行う「ジュニア reader おはなし会」も実施している。おはなし会は4月に実施済みで、秋にも開催を考えている。

(光) 「ワンダーおはなし会」について

→ (田) 6月は「ヒトの脳」をテーマにしたおはなし会を実施し、「見る」「嗅ぐ」「聴く」「触る」などの感覚に関する実験を行った。例えば、「聴く」についてはフライパンでものが焼ける音を聞いて、どんな音に聞こえるか考え、「触る」については見えない箱に冷たいものと温かいものを置き、温度を感じるのは脳の働きによるものだという実験を行った。最後に関連する絵本の読み聞かせを行った。

(光) 「協力事業『子育て交流会』」について

→ (田) 今回、6月に初めて開催したもの。子育て世代の母親の交流を目的とした事業で、「貫井びよびよ」に相談し、個別相談ではなく、参加者同士の会話を通して悩みの解決につながるような事業にしたいと考えた。募集は、館内掲示や、普段「ニコニコあちゃん」等のおはなし会に来ている方に声掛けした。子供が歩くと座談会に集中できないため、ハイハイ未満の子供の親を対象としている。

近所にお住まいの方が多く参加し、全員がまた参加したいとの希望だったため、9月にもう1度、開催を考えている。当館では、貫井図書館のような託児サービスは考えおらず、それに代わる事業としての意味合いもある。会の最後には、本の説明や紹介も行い、布の絵本やボードブックに興味を持っていただいた。